

機械のつまり除去は 必ずエンジン止めてから！

必ず

色々な種類の農業機械によるつまり除去時や点検中の巻き込まれ事故が多く発生しています。死亡事故につながるケースも報告されています。 [都道府県事故情報(平成23年4月～24年3月)集計結果より]

農作業機械による巻き込まれ等事故の主な報告実例

○ 自脱型コンバイン

コンバイン始動中、引っかかった稲わらを抜こうとした際、チョッパー部分に手が挟まり右手薬指を骨折

○ ビニールハウス巻き取り機

ハウスのビニールを巻き上げ作業中、滑車が逆回転し、止めようとして素手でさわり負傷

○ 攪拌ミキサー

泥落とし作業のため、攪拌ミキサーを使用中、排出口に泥がたまってきたため、泥を掻き出そうと排出口に右手を入れた際、攪拌機の羽に指が当たり、右中指、人差し指、薬指を切断

○ ジャガイモ収穫機

馬鈴薯の収穫作業中、ゴミがからまり機械のエンジンを止めずにゴミを取り除こうとしたところ、軍手が巻き込まれ、手も一緒に中に入り負傷

○ タマネギ用収穫機

収穫中、かきあげベルトにゴミが詰まっていたので除去しようとした際、誤ってかきあげベルトを駆動させて左手等を負傷

○ ゴボウ収穫機

ゴボウ圃場にて収穫作業中、ハーベスターのゴボウを引き上げるゴムベルトの部分に葉や茎が詰まり取り除こうとしたところ、ゴムベルトとローラーに右手親指を挟み負傷

必ずエンジン停止！

簡単なつまり除去作業であっても必ずエンジンを停止し、十分な安全を確保して作業する習慣を身につけましょう。

